

到達目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1. 社会人・組織人の一員として自覚できる 2. 当院・看護部の理念、方針を知る 3. 自部署の特徴を知る 4. 日勤の流れを知る	1. 指導者とともに、患者に安全安楽な看護技術が実施できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち、日勤業務ができる 3. 実施したことを記録・報告できる	1. 指導のもと、看護手順やマニュアルに沿って安全に看護援助ができる 2. 指導者とともに、予約入院患者の対応ができる 3. 夜勤業務を経験する	1. スケジュールに沿って1人で日勤業務ができる 2. 指導のもと、患者に必要な情報を収集できる（身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から、入院前の生活など）	1. チームメンバーとしての役割を意識して行動できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち夜勤業務ができる 3. 適切に報告・連絡・相談ができる	1. チームメンバーとしての役割を理解して行動できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち夜勤業務ができる 3. 適切に報告・連絡・相談ができる	1. チームメンバーとしての役割を理解して行動できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち夜勤業務ができる 3. 適切に報告・連絡・相談ができる	1. チームメンバーとしての役割を理解して行動できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち夜勤業務ができる 3. 適切に報告・連絡・相談ができる	1. チームメンバーとしての役割を理解して行動できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち夜勤業務ができる 3. 適切に報告・連絡・相談ができる	1. チームメンバーとしての役割を理解して行動できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち夜勤業務ができる 3. 適切に報告・連絡・相談ができる	1. チームメンバーとしての役割を理解して行動できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち夜勤業務ができる 3. 適切に報告・連絡・相談ができる	1. チームメンバーとしての役割を理解して行動できる 2. 指導者とともに複数の患者を受け持ち夜勤業務ができる 3. 適切に報告・連絡・相談ができる
行動目標	1. 勤務表通りに出勤できる 2. 生活リズムを整え、健康管理する 3. 自分から挨拶ができる 4. 身だしなみを整えることができる 5. 病院のルールを厳守し行動できる 6. 相手に合った適切な言葉遣いができる 7. 当院の理念、看護部の理念、方針、目標を知り組織人として意識をもつ 8. 病院の特徴と自部署の特徴を知る 9. 自部署の特徴が言える 10. 日勤の流れがわかる	1. 指導者とともに、受け持ち患者の基礎看護技術を安全・安楽に実施できる 2. 感染予防対策の基本を遵守し行動できる 3. 患者のプライバシーに配慮することができる 4. 指導のもと電子カルテから必要な情報収集ができる 5. 守秘義務を遵守し、診療情報を取り扱うことができる 6. 指導者とともに、注射・内服のための確認作業が確実にできる	1. 主体的に受け持ち患者の看護技術を安全・安楽に実施できる 2. 指導のもと、検査・処置・手術の対応ができる 2. 夜勤業務の流れがわかる 3. 変則勤務に対応できるよう体調管理する	1. 指導のもと、データベースに基づいて情報収集できる 2. 指導のもと、収集した情報を整理し、統合アセスメントができる 3. 不規則な勤務に対応し、体調管理ができる	1. チームメンバーとしての役割を理解する 2. 自分の業務を時間内、時間通りに行える 3. SBARに沿って報告できる	1. チームメンバーとしての役割を理解する 2. 自分の業務を時間内、時間通りに行える 3. SBARに沿って報告できる	1. チームメンバーとしての役割を理解する 2. 自分の業務を時間内、時間通りに行える 3. SBARに沿って報告できる	1. チームメンバーとしての役割を理解する 2. 自分の業務を時間内、時間通りに行える 3. SBARに沿って報告できる	1. チームメンバーとしての役割を理解する 2. 自分の業務を時間内、時間通りに行える 3. SBARに沿って報告できる	1. チームメンバーとしての役割を理解する 2. 自分の業務を時間内、時間通りに行える 3. SBARに沿って報告できる	1. チームメンバーとしての役割を理解する 2. 自分の業務を時間内、時間通りに行える 3. SBARに沿って報告できる	1. チームメンバーとしての役割を理解する 2. 自分の業務を時間内、時間通りに行える 3. SBARに沿って報告できる
勤務・業務	4/24 配属 シャドウイング	日勤ペア 休日日勤 退院（準備・対応） 転棟（準備・申し送り・受け入れ）	予約入院 夜勤体験	重症患者 夜勤ペア	日勤独り立ち 緊急入院							
中央研修	4/1～4/7 集合研修 4/8～4/23 病棟研修ローテーション 4/13 看護倫理（午前） 4/16 看護記録①（午後） 4/3、10、13 森町役場新人研修	5/11 森町役場新人研修（午後） 5/21 看護記録②（午後） 新人学習会：毎月1時間程度、学習や振り返りの時間があります	6/10 夜勤オリエンテーション 6/20 リフレッシュ研修（院外）	7/8 SBAR 8/12 KYT	9/9メンバーシップ 10/14 急変対応 BLS	11/11 急変時記録 12/9 病態発表（各病棟）	1/13 事例発表に向けて 2/10 静脈注射技術確認	3/10 事例発表				
基礎看護技術	□ベッド周囲の環境整備 □ベッドメイキング □臥床患者のシーツ交換 □食事介助 □疾患別の食事の理解 □経管栄養法 □排尿・排便介助 □摘便 □浣腸 □歩行介助・移動の介助・移送 □体位変換 □体動・移動に注意が必要な患者への援助 □清拭 □口腔ケア □入浴介助 □部分浴・陰部ケア（洗浄）・おむつ交換 □転倒転落防止策の実施 □酸素吸入療法 □吸引（口腔内・鼻腔内） □体温調整 □褥瘡の予防 □包帯法 □創傷処置 □経口薬、外用薬の与薬、直腸内与薬 □インスリン製剤の種類と用法の理解と副作用の観察 □皮下注射 □静脈内注射・点液静脈内注射 □意識レベルの把握 □抗菌薬等の用法の理解と副作用の観察 □静脈血採血 □採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い □血糖測定と検体の取り扱い □バイタルサイン（呼吸・脈拍・体温・血圧）の観察と解釈 □パルスオキシメータによる測定 □身体計測 □心電図モニターと12誘導心電図の装着、管理 □スタンダードプリコーション（標準予防策）の実施 □必要な個人防護具の着脱 □医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い □誤薬防止の手順に沿った与薬	□廃用症候群予防・関節可動域訓練 □導尿 □輸血の準備、輸血後の観察 □中心静脈カテーテルの準備・介助・管理 □輸液ポンプ・シリンジポンプ □動脈血採血の準備と検体の取り扱い □麻薬の種類・用法の理解と管理 □死後のケア	□膀胱内留置カテーテルの挿入と管理 □救命救急処置 気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫 □気管挿管の準備と介助									
eラーニング	＜AA2664＞安全・安楽な食事介助について理解しよう！ ＜BDA2653＞治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア ＜BDA2651＞ ＜BDA2652＞	＜AA2655＞五感フル活用！バイタルサインからどう判断するか ＜BDA2654＞治療を受ける認知症の人の看護のための基本的な考え方とアセスメント・ケア	＜AA2651＞実践！アセスメント力を高めるフィジカルイグザミネーション ＜BDA2655＞治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント ＜AA2604＞	＜AA2602＞膀胱留置カテーテル管理～感染を起こさないための第一歩～ ＜AA2605＞もうアワアワしない！安全・確実な輸血投与の基本 ＜BDA2656＞治療を受ける認知症の人とのコミュニケーションの方法と環境調整のポイント	＜AA2658＞心電図のいろは ＜BDB2601＞事例にみる二次性骨折の予防 ＜AA2656＞はじめての褥瘡ケア～予防・発見・悪化防止の基礎知識～ ＜BDB2654＞高齢者の褥瘡形成の特徴	＜AA2654＞多重課題の波を乗りこなせ～チームワークを円滑にする整理術・連携術～ ＜CK2602＞誰でも必要な医療機関における聴く力～話を「聴く」ってどういうこと？～	＜AA2608＞私のキャリアストーリー構築～成長するための看護現場学入門～ ＜BDA2602＞認知症ケアにおける看護倫理	＜AA2603＞患者の尊厳を守るエンド・オブ・ライフケア～エビデンスをふまえて自信をもってケアできる～ ＜CD2651＞臨床倫理実践～患者の幸福をナラティブから見つけ出す～				